

## 新・八幡の歴史

前回は先史時代の八幡を詳しく話して下さいました。右の資料は昭和58年、元南八幡高校造成時に発見されたそうです。地形を利用した墓。埋葬品にしても1つ1つ調べることで当時の状況を知ることができる。須恵器（朝鮮半島から伝わり窯で1000度以上で焼かれる）、土師器（弥生土器の流れをくみ、野焼きで焼かれ、茶褐色でやや軟質）、人骨等が出土。出口さんのお話で面白いと思ったのは九州の隼人族の地下式横穴墓と類似していること。朝廷に齒向かったとして京都南部にも多くの隼人族が連れて来られた。その関係か。

- ① 日時 2018年7月13日(金) 13時30分～
- ② 講師 出口修さん
- ③ 参加費 100円

新・八幡の歴史 4回目です。新しくスタートしています。前のお話と違う部分も話されるそうです。

## 4回目

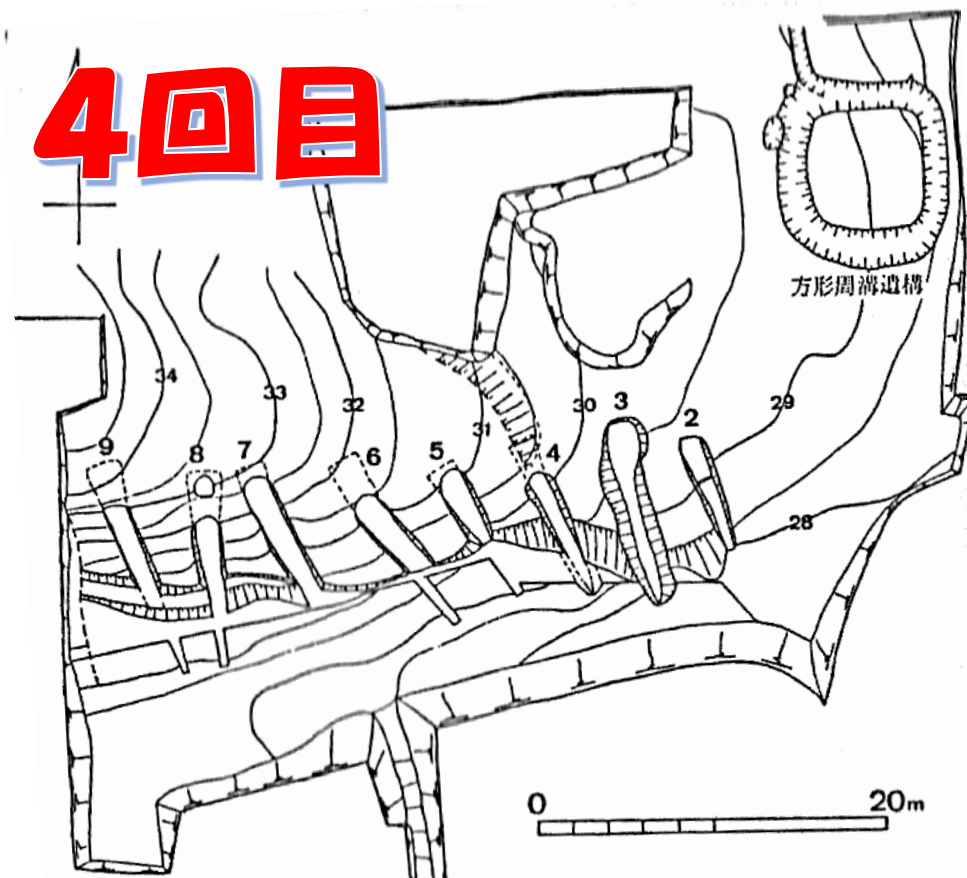


図3: (美濃山狐谷横穴群)出口さん資料より

**八幡まるごと館** / 八幡市男山松里12-20

(TEL&FAX) 075-983-3664

(E-MAIL) [yawata@marugotokan.net](mailto:yawata@marugotokan.net)

ホームページは <http://marugotokan.net/>

又は、八幡まるごと館で検索して下さい



八幡まるごと館は街行く人のだれもが自由に立ち寄れる“地域サロン”です。休館日は毎週火曜日全日と土日午後です。